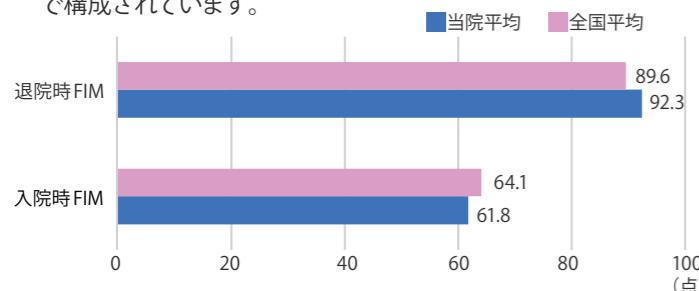


当院のリハビリテーション実績 2024 年度

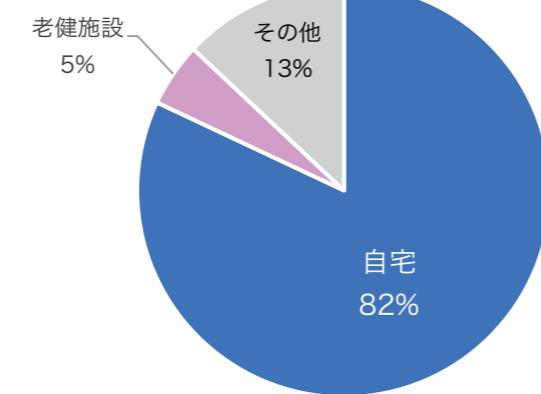
ADL 改善

Activities of Daily Living (ADL) は、食事、排泄、入浴、移動などの日常生活動作を示します。用いている Functional Independence Measure (FIM) は日常生活動作の自立度を評価する尺度で全 18 項目(運動 13 項目、認知 5 項目)からなり、7 段階で 18 点(全介助)～126 点(自立)で構成されています。



在院日数・在院復帰率

- ・在院日数 : 74.6 ± 34.8 日
- ・在宅復帰率



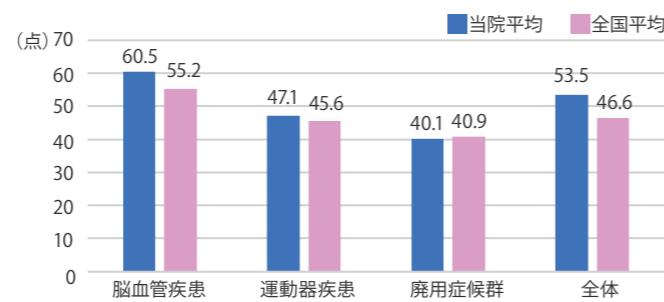
疾患別の ADL 改善



実績指數

患者様の「回復力」を数値化。当院は「回復力」スコアが全国平均より高水準です! 具体的な計算式は、以下の通りです。

(FIM 運動項目の入退院時の得点差)/(入院日数 / リハビリ算定上限日数)



●●● 院内での面会のルールが変わりました ●●●

時 間 9:00～20:00
人 数 制限ありません
年 齢 制限ありません

近隣の感染状況、院内の感染状況により、
『面会制限』をさせていただく場合がございます。



以下の場合は、ご面会をご遠慮いただきます
①発熱、せき、のどの痛み・違和感、鼻水などの症状が
ひとつでもある場合
②お子さまは体調に閑らず、学級閉鎖している場合



医療法人篤友会
関西リハビリテーション病院 広報誌



関西リハビリテーション病院公式

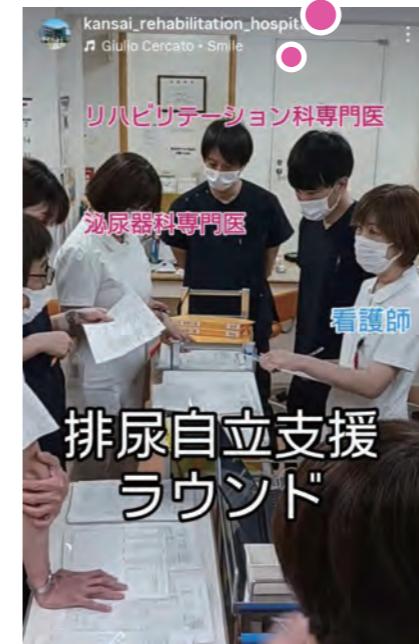
Instagram で

病院の日常をチェック!



Vol.6
2025.10
October

日々の活動



各部署の取り組み



季節食などの紹介



INDEX

- 関西リハビリテーション病院 リハビリ最前線
— 入院から退院までの歩み — p.2 p.3
- 当院のリハビリテーションの実績 2024 年度 p.4

Instagram



公益財団法人病院機能評価機構
病院機能評価(本体)・リハビリテーション機能(高度・専門)認定取得!

関西リハビリテーション病院

リハビリテーション最前線 一入院から退院までの歩みー

関西リハビリテーション病院は、先端の技術と多職種連携による包括的なリハビリテーションを提供します。
患者様一人ひとりのニーズに合わせたリハビリ計画を作成し、入院から在宅支援まで切れ目なくサポートを行います。



当院の特徴

1.先端リハビリ技術

先端機器やロボット技術を活用し、科学的根拠に基づいた効果的なリハビリテーションを提供します。

2.多職種連携

医師、看護師、療法士、管理栄養士、社会福祉士、薬剤師など多職種が協力し、包括的な医療とケアを提供します。

3.退院後の継続支援

退院後も安心して生活できるよう、法人内の在宅サービスが連携し、外来フォロー、訪問診療・訪問看護・訪問リハ・ケアプラン作成まで切れ目のない支援でサポートします。

入院

入院に関するお問い合わせやご相談は、
入院支援課までお問い合わせください。
TEL: 06-6857-7756



*
入院

入院時
訪問調査



入院時訪問調査



入院初期にご自宅へ伺わせていただき、生活環境を把握し、リハビリ計画を立案、退院後の支援につなげます。

入院時カウンターフォン

医師、看護師、療法士、社会福祉士、管理栄養士が集まり、ICFを用いてリハビリ計画を立てます。

病棟訓練

看護師が日々の生活場面を活用し、自主練習として立ち上がり動作や歩行など支援し、日中の活動量を高める関わりを大切にしています。

*
入院時
カウンターフォン

リハビリ
テーション

*
病棟訓練

*
家族説明

退院前家屋調査

リハビリで獲得できた能力を退院後も発揮できるよう、ご自宅での動作確認を行います。あわせて福祉用具・住宅改修を提案し、安全な在宅生活への準備をサポートします。



*
退院前
カウンターフォン

退院

リハビリテーション

理学療法

歩行学習支援ロボットなどを活用し、歩行をはじめとして日常動作の効率的な獲得を支援します。



作業療法

日常生活や家事・仕事・趣味などの生活行為に焦点をあてて、個別性の高い訓練を実施します。

言語聴覚療法

コミュニケーション障害や嚥下障害に対して訓練を行い「話す」「食べる」の回復を支援します。

音楽療法

音楽を楽しむことを通じて「やりたい」という気持ちを引き出し、その人らしさの回復を支援します。

心理療法

心理のサポートや認知面の賦活をはかり、ご希望に応じてご家族様からの相談にも対応しています。



*
退院前
家屋調査

家族指導

患者様の状態にあわせた介助方法、栄養指導、服薬管理、介護者の心理的支援や不安軽減なども含めチームで支援しています。



外出 (外泊)

自宅復帰、社会参加を見据え、主治医の許可のもと、公共交通機関を用いた外出訓練、それ以外の外出・外泊を計画的に行ってています。生活環境や介護負担を多職種で評価、支援しています。



退院

退院後のリハビリテーションを篠友会ネットワークでサポートします。